

MOCO通信

MOCOとは、「mother=母のような・やさしい」のMOと「combination=結合」のCOからつけられました。
「きょうとMOCO」は京都府中小企業女性中央会の愛称です。

編集・発行：きょうとMOCO
京都府中小企業女性中央会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入ル函谷鉢町78番地
京都経済センター3階 京都府中小企業団体中央会内
☎ 075-708-3701 ☎ 075-708-3725
URL <http://www.chuokai-kyoto.or.jp/kyotoMOCO>

京都の魅力を再発見！ きょうとMOCO社会見学

9月24日（火）きょうとMOCO社会見学ツアーは、(株)川島織物セルコンの本社市原事業所・川島織物文化館へ訪問しました。今回は特別にインテリアファブリック、綾帳や帯の生産工場もご案内いただき、その中で綾帳の織機は、200平米ものを1枚で織ることができるとても巨大な機械で大変驚かされました。

旧川島織物は、176年前の1843年（天保14年）初代川島甚兵衛が当時呉服悉皆業として創業し、強固な礎を築いた初代に続き長男二代目が欧洲へ視察、日本でカーテンを初めて作り、また宮内庁の室内装飾織物を製造し高度な技術力を認められ皇室御用達の国内企業第1号となるなど素晴らしい歴史を持っておられます。そして、川島織物文化館では過去の織物の原画や試織、実際の織物を見学することができました。それぞれの織物の姿は、その時代のインテリア空間を想像させ完成品のイメージが膨らみ目の前で蘇る感じがします。また、出品されたインテリア作品が万国博覧会で過去に数々受賞されたとお聞きすると日本人として大変誇りに思いました。

説明してくださった中で特に印象に残ったのは、大正5年に宮内庁より依頼された明治宮殿用の綾織壁掛けのお話でした。下絵の作成や試し織りに5年もの時間を費やし制作を始めた頃は、第一次世界大戦の混乱期でした。1／3程織りあがった織物には全く問題がなかったのですが、その当時使っていた高品質なドイツの染料が手に入らなくなってしまい、違う染料を使用すると退色することが分かりました。このまま放っておくと本来の品質が無視されいい加減なものが出来てしまうと考えた三代目夫人が織り途中の糸を意図的に全て切断してしまったというお話でした。このこだわりのものづくり精神は今この川島織物セルコンに受け継がれており、現代に合った高品質な織物を生んでおられるのですね。素晴らしい工場見学をさせていただいたと思います。

最後にしようざんリゾート楼蘭で参加者の皆様と会食、交流会を経て園内にある日本庭園の散策を楽しみました。次回の社会見学でもまた違った視野を広げられたら嬉しく思います。

（記：理事 山本 真己）



(株)川島織物セルコン 本社市原事業所

おかげさまで3月26日に創立20周年を迎えます！ ぜひご予定ください！

創立20周年記念講演会・記念パーティー

記念講演会 講師：京都中央信用金庫 副会長 平林 幸子 様

令和2年
6月16日(火)
15:30～



レディース中央会全国フォーラム in 神奈川

他府県の女性中央会との
連携・交流に取り組みました！

令和元年10月10日（木）、神奈川県横浜市において本年度のフォーラムが開催されました。全国から約250名、本会からも伊庭節子会長をはじめ4名が参加しました。

基調講演では、株式会社陣屋の代表取締役 女将 宮崎知子氏より『老舗旅館の再生と働き方改革』と題した講演を拝聴しました。倒産の危機にあった老舗旅館の女将に就任後、クラウド型旅館業務支援システム「陣屋コネクト」を独自開発し、ICT（情報通信技術）を活用したデータ分析とサービスの向上による老舗旅館の再生について、また、サービス業では異例の週休3日の働き方改革の取り組み等について説明されました。

基調講演終了後は、『女性の働きやすい職場環境を考える』をテーマにパネルディスカッションが行われ、女性に限らず誰もが働きやすい職場環境づくりについて探究を深めました。

翌日は台風による影響が心配されましたが、三渓園や横浜赤レンガ倉庫を見学、横浜中華街において美味しい昼食をいただき、無事に帰路につきました。

来年度のフォーラムは、令和2年11月26日（木）に宮崎県で開催されますので、ご予定下さいますようお願い致します。

次回の近畿ブロック交流会は

京都で開催します！

女性中央会近畿ブロック交流会

令和元年11月27日（水）、しが中小企業女性中央会の主催により、本年度の女性中央会近畿ブロック交流会が比叡山延暦寺の門前町として栄えた滋賀県大津市坂本において開催されました。本会からは13名が参加、4府県合わせて70余名が参集しました。

今回の交流会は、見事に赤く色付いた紅葉が美しい西教寺が会場となり、昼食には1200年前から精進料理の材料として使われてきた食用菊（坂本菊）を使ったこの時期しか味わえない菊御膳をいただきながら、終始和やかな雰囲気の中でテーブルごとに活発な情報交換を行った後、各府県の会長からそれぞれの活動を発表されました。

交流会終了後は、西教寺のご住職より西教寺の縁起等についてお話をうかがい、ボランティアガイドさんのご案内のとも拝観、また旧竹林院の見学を行いました。

しが中小企業女性中央会の皆さん、秋の坂本の魅力あふれる交流会をご企画いただき、ありがとうございました。

来年は京都で近畿ブロックの皆さんとお会いできることを楽しみにしております。



交流会での活動報告



京都からの参加メンバー



基調講演：株式会社陣屋

代表取締役 女将 宮崎知子氏



交流会での記念撮影